

Ver. 9	開始時刻	終了時刻	発表時間	担当者	所属	課題
2月16日	10:00	10:15	0:15	田中愛幸	東京大学理学系研究科	巨大地震に伴う粘弾性余効変動の解明
	10:15	10:30	0:15	井出哲	東京大学理学系研究科	地震発生場のテクトニクスとマルチスケール地震現象の予測可能性
	10:30	10:45	0:15	深畑 幸俊	京都大学防災研究所	日本列島の地震-火山噴火の基本場解明: 地殻とマントルにおける応力、流体-マグマ、温度・流動-変形場
	10:45	11:00	0:15	小笠原 宏	立命館大学	南アフリカ大深度金鉱山からの地震発生場における応力と物質の直接調査
	11:00	11:15	0:15	松澤 暢	東北大学理学研究科	流体の寄与に注目した地震断層すべり物理モデルの高度化
	11:15	11:35	0:20	岡田知己	東北大学理学研究科	地殻応答による断層への応力载荷過程と断層間相互作用の解明と予測
	11:35	11:50	0:15	角森史昭	東京大学理学系研究科	地殻流体の化学的観測による地震火山活動評価システムの高度化と応用
	11:50	13:30	1:40	昼休み		
	13:30	13:45	0:15	中島淳一	東北大学理学研究科	スラブ内地震の発生メカニズムに関する研究
	13:45	14:15	0:30	篠原雅尚	東京大学地震研究所	千島海溝・日本海溝における複合海底地震測地観測によるプレート境界の挙動解明とそのモデル化
	14:15	14:30	0:15	朴進午	東京大学大気海洋研究所	巨大津波を引き起こす震源断層の実態解明と流体変動モニタリング
	14:30	14:45	0:15	岡田 知己	東北大学理学研究科	国際共同研究によるニュージーランドにおける地震発生機構の解明
	14:45	15:00	0:15	望月 公廣	東京大学地震研究所	日本・NZ国際協力によるヒクラング沈み込み帯における多様な地震活動と、その発生環境との関係の解明
	15:00	15:15	0:15	八木原 寛	鹿児島大学	南西諸島北部域におけるプレート間すべりの特性に関する地震・地殻変動観測研究
	15:15	15:30	0:15	波多野恭弘	東京大学地震研究所	非線形動力学・計算材料科学との学際連携に基づく地震現象の多様性の統一的理解
	15:30	16:00	0:30	休憩		
	16:00	16:15	0:15	趙 大鵬	東北大学理学研究科	世界各地の大地震発生域との比較研究に基づく地震・火山現象の理解
	16:15	16:30	0:15	塩原 肇	東京大学地震研究所	海底での地震・地殻変動観測に向けた機動的観測技術の高度化
	16:30	16:45	0:15	太田雄策	東北大学災害科学国際研究所	GPS-A観測による効率的な上下変動検出技術の開発と根室沖観測への適用
	16:45	17:00	0:15	石川 直史	海上保安庁	海底地殻変動観測
	17:00	17:15	0:15	藤江剛	海洋研究開発機構	海底広域変動観測研究
	17:15	17:35	0:20	討論		
2月17日	10:00	10:20	0:20	伊藤喜宏、 山下裕亮	京都大学防災研究所	津波生成過程の理解に向けた浅部スロー地震の活動様式・発生場の解明とモデル化
	10:20	10:35	0:15	小菅正裕	弘前大学	東北日本弧・千島弧会合部とその周辺における地震発生場の解明
	10:35	10:50	0:15	今西祐一	東京大学地震研究所	東日本における長期的重力変化の観測とモデリング
	10:50	11:10	0:20	飯尾能久	京都大学防災研究所	内陸地震の発生機構と発生場の解明とモデル化
	11:10	11:25	0:15	飯高 隆	東京大学地震研究所	内陸地震発生ポテンシャルの予測を目指した島弧の地殻応答と断層における地殻内流体の影響の解明
	11:25	11:40	0:15	澁谷拓郎	京都大学防災研究所	南海トラフ巨大地震の予測高度化を目指したフィリピン海スラブ周辺域での総合的観測研究
	11:40	12:00	0:20	相澤 広記	九州大学	地震火山相互作用下の内陸地震空間ポテンシャル評価
	12:00	13:30	1:30	昼休み		
	13:30	13:45	0:15	酒井慎一	東京大学地震研究所	首都圏の地震被害分布と地震像の解明
	13:45	14:00	0:15	中谷正生	東京大学地震研究所	より現実的な断層面ダイナミクス
	14:00	14:15	0:15	今西 和俊	産業技術総合研究所	高分解能地殻応力場の解明と造構造場の研究
	14:15	15:30	1:15	国研の方発表 および討論		